

今号の
注目記事

今月の谷口町長は・・・

6月は、全国過疎地域自立促進連盟理事会(16日、東京都)、宇和島地区広域事務組合運営審議会(17日、宇和島市)、愛媛大学南予水産研究センター設置記念式典(19日、松山市)、国道56号及び高規格道路の知事要望(26日、松山市)などに出席しました。

7月は、みしょうMIC新鮮市まつちか店オープニングセレモニー(1日、松山市)、愛南地区防犯協会総会(3日)、愛媛県市町道路整備促進期成同盟会定期総会(7日、松山市)、篠山観光開発協議会総会(10日)などに出席しました。

私は、第一次産業の活性化をめざした「愛なんブランド」の推進、全国に誇れる美しい自然環境を守り育てる「環境施策」を政策の柱に掲げてきました。美しい生活環境は、地域に暮らす皆様の自然環境に配慮したライフスタイルから生れると思います。ごみや有害物質の少ない海、川を実現していくこと、つまり生活の中で実感できる美しさを体感できる町でありたいと願っています。そのためには、住民の皆さんの協力が必要です。そんな思いから「環境フォーラム」を開催させていただきました。今後、身近な生活環境に関心を持っていただき、そんな人の輪が広がっていくことを期待したいと思います。



6/30

町婦人会一本松支部(13名が指導)の皆さんが指導して、東海小学校5年生が「防災頭巾づくり」に挑戦しました。



7/1

「みしょうMIC新鮮市まつちか店」オープニングセレモニーでのテープカットです。(写真左から、永元義秋愛南総研取締役、谷口町長、中村時広松山市長、佐伯要伊予鉄道株式会社社長)



7/10

僧都小学校児童の製作した彫刻作品とともに、皆さんの笑顔を撮影しました。



7/14

山本照子南予海事協会会長が、町に自動体外式除細動機(AED)を寄贈されました。